

その男が歩む道は、すべてが芸術になる。

アントニオ・バンデラス主演！

自由と平和を愛し、奔放な愛に生きた天才芸術家の生涯を描く

『ジーニアス:ピカソ』

ナショナル ジオグラフィックで日本初放送

2018年7月29日(日)放送スタート 毎週日曜 午後10時～

ドキュメンタリー専門チャンネル、ナショナル ジオグラフィック(運営:FOX ネットワークス株式会社、本社:東京都品川区、代表取締役:西川高幹、以下ナショジオ)は、20世紀最大の芸術家パブロ・ピカソの生涯を描くドラマシリーズ『ジーニアス:ピカソ』(全10話)を2018年7月29日(日)午後10時より放送いたします。本ドラマシリーズは、人類の歴史に偉大な足跡を残す天才たちの知られざる素顔に迫るドラマシリーズ『ジーニアス』の第2弾となり、天才科学者アインシュタインの生涯を描いた前作と同様に、天才芸術家ピカソの生涯と知られざる素顔を描きます。製作総指揮は、前作に続きアカデミー賞受賞監督 ロン・ハワードとブライアン・グレイザーが務めます。主役のパブロ・ピカソは、ピカソと同じスペイン出身の世界的スター、アントニオ・バンデラスが演じます。



本作は、天才芸術家ピカソの波乱に満ちた生涯を描きます。キュビズムの創始者として美術界の既成概念をことごとく打ち破り、20世紀最大の画家として世界中の誰もがその名を知るピカソですが、果たして彼はどのような人物で、どのような人生を歩み、どのようにして才能を開花させたのでしょうか。91年に及ぶ、ピカソの長い人生の様々な時間軸を交差させながら、彼の人となりを知ります。番組では、スペイン内戦でドイツ軍によって空爆された都市ゲルニカをモチーフにして描かれた反戦的な力作『ゲルニカ』を筆頭に、誰もが一度は見たことのあるピカソの名画の誕生秘話も描かれます。あえて政治には関わろうとしなかったピカソが、なぜ反戦をテーマにした作品を発表したのか。彼の人生の様々な局面と、それぞれの絵画に込められたピカソの熱い想いに迫ります。さらに、多くの女性を愛した恋多き男性として知られるピカソですが、彼にとって女性はただの恋愛対象ではなく、創造力の源でもありました。ピカソが愛した、強い意志を持つ女性たちとの情熱的なロマンスも、本番組では描かれます。

これからもナショジオは、人類の好奇心が呼び起こす知的欲求と、その先にある無限の未知へ挑み続け、世界最高のクオリティとエンターテインメントが共存する番組をお届けいたします。

画像クレジット: ©National Geographic/Dusan Martincek

放送スケジュール

※都合により変更になる場合があります

『ジーニアス:ピカソ』(全10話)

ナショナル ジオグラフィックにて日本初放送

<ニヶ国語版> 2018年7月29日(日)スタート 毎週日曜午後10時 ほか

<字幕版> 2018年7月31日(火)スタート 毎週火曜午後9時 ほか

■番組公式ページ: http://natgeotv.jp/tv/lineup/prgm/top/index/prgm_cd/2467

<報道関係者の方のお問い合わせ先>

FOX ネットワークス(株) マーケティング部 PR 担当 foxtvpr@fox.com

■視聴者の方のお問い合わせ先 FOX カスタマーサービス TEL.0570-000-620 (10:00-20:00 年中無休)

■ナショジオ公式WEBサイト <http://natgeotv.jp>

『ジーニアス:ピカソ』 主な登場人物①

パブロ・ピカソ

20世紀を代表する世界的な画家。1881年スペインのマラガ生まれ。少年時代より芸術の才能を発揮し、フランスのパリを拠点に創作活動を続ける。芸術の既成概念を覆す運動キュビズムを確立し、生涯で約5万点の作品を発表。1973年没。



アントニオ・バンデラス

1960年スペインのマラガ生まれ。ペドロ・アルモバル監督の名作『神経衰弱ぎりぎりの女たち』('88)や『アタメ』('90)などで国際的な知名度を獲得し、『マンボ・キングス/わが心のマリア』('92)でハリウッドに進出。『インタビュー・ウィズ・ヴァンパイア』('94)などの脇役を経て、主演作『デスペラード』('95)の大ヒットでアメリカでもトップスターとして認知される。マドンナ共演のミュージカル『エビータ』('96)やアクション・コメディ『スパイクツ』('01)シリーズでも有名。甘いルックスのラテン系美男子として、世界中の女性を虜にしてきた。最近ではシルヴェスター・スタローンらと共演した『エクスペンダブルズ3 ワールドミッション』('14)も話題に。



アレックス・リッチ(青年期のパブロ・ピカソ)

ロサンゼルスを拠点に活躍するハリウッドの新進俳優。'12年にテレビ・デビューし、『TRUE DETECTIVE/ロサンゼルス』などのドラマにゲスト出演。女子プロレスリングを題材にした『GLOW:ゴージャス・レディ・オブ・レスリング』でセミ・レギュラーを務めている。今回の若きピカソ役が初めての大作となった。



フランソワーズ・ジロー

ピカソの愛人となった画家で美術評論家。1921年フランス生まれ。父親の反対を押し切って芸術の道へ進み、21才の時に親子ほど年の離れたピカソと出会う。彼の子供を2人もうけたが破局。96歳の現在もアメリカで健在。

クレマンズ・ポエジー

1982年フランスのパリ生まれ。子役として舞台デビューし、英国BBCの歴史ドラマ『レジェンド・オブ・サンダー』('05)で評価される。映画『ハリー・ポッターと炎のゴブレット』('05)のフラー・デクレール役で世界的な知名度を高め、以降のシリーズにも同役で出演。'10年には人気ドラマ『ゴシップ・ガール』シーズン4で娼婦エヴァ役を演じて話題に。ファッションモデルとしても、ギャップやクロエ、ナイロン、Gスターなど人気ブランドの広告に起用されている。



ドラ・マール

ピカソの愛人となった写真家で画家。1907年フランスのパリ生まれ。シュールレアリズム系の女流写真家として成功し、知人を介して知り合ったピカソと恋に落ちる。ピカソの『ゲルニカ』製作工程を撮った写真でも有名。1997年没。

サマンサ・コリー

イギリス出身の若手女優。オックスフォード演劇学校で学び、'14年に出演したロンドンの舞台『るつぼ』で演技賞を獲得。テレビの歴史ドラマ『女王ヴィクトリア 愛に生きる』('16~'17)の準レギュラーを経て、『ジーニアス:アインシュタイン』('17)でアインシュタインの最初の妻ミレヴァ・マリッチを演じた。



マリー＝テレーズ・ワルテル

ピカソのモデルで愛人になった女性。1909年フランス生まれ。パリの百貨店から出てきたところを、通りがかったピカソにその美貌を見初められる。2人の関係はピカソ夫人オルガが亡くなるまで周囲に秘密にされた。娘マヤを出産。1977年没。

ポッピー・デルヴィーニュ

1986年イギリスのロンドン生まれ。'08年にモデルとしてスカウトされ、ローラ・アシュリーやバーバリーなどのモデルとして活躍。マーク・ジェイコブスのミュージズとしても知られ、ルイ・ヴィトンの広告塔にも起用された。近年は女優業にも進出し、『キングスマン:ゴールデン・サークル』('17)の悪女クララ役で強い印象を残す。

『ジーニアス:ピカソ』 主な登場人物②

カルロス・カサヘマス

若き日のピカソの親友。1881年スペイン生まれ。バルセロナの有名なカフェ「四匹の猫」でピカソと知り合い意気投合し、一緒にパリへ赴くも酒や薬に溺れてしまう。1901年没。彼の死が「青の時代」と呼ばれるピカソの作風に影響を与えた。

ロバート・シーアン

1988年アイルランド生まれ。'10年より人気英国ドラマ『Misfits/ミスフィッツ-俺たちエスパー!』でネイサン役をシーズン3まで演じてブレイクする。映画ではファンタジー大作『シャドウハンター』('13)でヒロイン、クラリーの親友サイモン役を好演。アイルランドのテレビシリーズ『Love/Hate』('10~'13)では、アイルランド・アカデミー賞のテレビ部門助演男優賞に輝いた。


フェルナンド・オリビエ

ピカソの初恋の女性。1881年フランス生まれ。ピカソとは1904年にパリで出会う。幾人もの男性に虐待された危険から、当初は警戒心が強かったが、やがて彼の才能に惹かれる。彼女の書いた回顧録は、若き日のピカソを知る重要な資料。1966年没。

アシュリング・フランチオージ

1991年イタリア生まれ。父親がイタリア人で母親がアイルランド人。アイルランドのダブリンで育つ。英国ドラマ『THE FALL 警視ステラ・ギブソン』('13~'16)の女子高生ケイト役で注目され、『ゲーム・オブ・スローンズ』ではエダード・スタークの亡き妹リアンナ役を演じた。オーストラリアの歴史映画『The Nightingale』('18年公開予定)で初主演を果たし、今後の活躍が期待されている。


マックス・ジャコブ

フランスの高名な詩人。1876年フランス生まれ。パリで若き日のピカソと知り合って親交を深め、長年に渡る友人としてお互いに様々な影響を与え合った。キュビズムやシンボリズム、シュールレアリズムなどを取り入れた散文詩で有名。1944年没。

T・R・ナイト

1973年アメリカのミネアポリス生まれ。人気ドラマ『グレイズ・アナトミー』('05~)の外科医ジョージ・オマリー役でブレイクを果たす。シーズン5で降板後は、『グッド・ワイフ』シーズン4('12~'13)にセミレギュラー出演。最近は大ブロードウェイなどの舞台でも活躍している。


ギヨーム・アポリネール

20世紀のフランスを代表する前衛詩人で、シュールレアリズムという言葉の生みの親。1880年イタリアのローマ生まれ。パリでピカソと知り合い意気投合し、共にキュビズムの先駆者となる。ピカソの「ばら色の時代」の作風に影響を与えた。1918年没。

セス・ガベル

1981年アメリカのフロリダ生まれ。ドラマ『ダーティ・セクシー・マネー』('07~'09)の三男ジェレミー役と、『FRINGE/フリンジ』シーズン2以降('10~'13)の平行・ワールドの捜査官リンカーン・リー役で知られるようになる。『ARROW/アロー』('12~)にもヴァーティゴ伯爵で出演。『ジーニアス:アインシュタイン』ではアインシュタインの親友ミシェル・ベツツ役を演じた。

参考資料

『ジーニアス:ピカソ』 吹替え版声優①



大塚明夫 パブロ・ピカソ役(中年期)

【プロフィール】

生年月日:11月24日

出身地:東京都

特技:牽引免許・空手・茨城なまり

【代表作品】

■アニメ

『攻殻機動隊 STAND ALONE COMPLEX / S.A.C 2nd GIG』(ハトー)

劇場版『ハウルの動く城』(国王)

劇場版『紅の豚』(カーチス)

劇場版『魔女の宅急便』(飛行船の船長)

『ブラック・ジャック』シリーズ(ブラック・ジャック)

『サイボーグ 009 THE CYBORG SOLDIER』(005)

『ONE PIECE』(マーシャル・D・ティーチ)

■外画

●アントニオ・バンデラス出演作品

『スパイクズ』シリーズ、『デスペラード』、『バリストティック』、『マスク・オブ・ゾロ』、『レジェンド・オブ・ゾロ』、『暗殺者』



神谷浩史 パブロ・ピカソ役(青年期)

【プロフィール】

生年月日:1月28日

出身地:千葉県

【代表作品】

『斉木楠雄のΨ難』(斉木楠雄役)

『おそ松さん』(松野チョコ松役)

『夏目友人帳』(夏目貴志役)

『進撃の巨人』(リヴァイ役)

『イナズマイレブン アレスの天秤』(灰崎凌兵役)



三森すずこ フェルナンド・オリビエ役

【プロフィール】

生年月日:6月28日

出身地:東京都

趣味:料理、観劇、歌

特技:ダンス(JAZZ、TAP、BALLET)

【代表作品】

『探偵オペラ ミルキィホームズ』(シャーロック・シェリンフォード役)

『ラブライブ!』(園田海未役)

『結城友奈は勇者である／鷲尾須美は勇者である』(東郷美森／鷲尾須美役)

『デジモンアドベンチャーtri.』(武之内空役)

『てきゅう』(新庄かなえ役)

『神様はじめました』(桃園奈々生役)

『毎度!浦安鉄筋家族』(大沢木小鉄役)

『マイリトルポニー』(ピンキーパイ役)

『バービー:ライフ・イン・ザ・ドリームハウス』(バービー)

『ウルトラマンジード』(レム)

参考資料

『ジーニアス:ピカソ』 吹替え版声優②



本名陽子
フランソワーズ・ジロー役
【プロフィール】
生年月日:1月7日
出身地:埼玉県
趣味:カフェめぐり、料理、オカリナ

【代表作品】
■アニメ
『耳をすませば』(月島雫役)
『おもひでぽろぽろ』(岡島タエ子役(小5))
『ふたりはプリキュア』(美墨なぎさ/キュアブラック役)
『機動戦士ガンダム 00』(スメラギ・李・ノリエガ役)
『恋する天使アンジェリーク』(エンジュ役)

■外画

『アメイジング・スパイダーマン』(グウェン役)
『バトルシップ』(サム役)
『24 リブ・アナザー・デイ』(ケイト役)
『プリティ・リトル・ライアーズ』(アリソン役)
『ハンドメイド・テイル/侍女の物語』(ジューン/オブフレッド役)



戸松遥
ジュヌヴィエーブ・アリコー役
【プロフィール】
生年月日:2月4日
出身地:愛知県
趣味はサメに詳しいこと、B級モンスター映画を見ることなど。

【代表作品】
『ダーリン・イン・ザ・フランキス』(ゼロツー役)
『ヴァイオレット・エヴァーガーデン』(アイリス・カナリー役)
『妖怪ウォッチ』(ケータ役)
『ソードアート・オンライン』(アスナ役)
『あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。』(安城鳴子役)



桑島法子
ドラ・マール役
【プロフィール】
生年月日:12月12日
出身地:岩手県
趣味:芸術鑑賞

【代表作品】
『宇宙戦艦ヤマト2202』(森雪役)
『カードファイトヴァンガード G』(明日川タイヨウ役)
『薄桜鬼』(雪村千鶴役)
『ガンダム SEED』(フレイ・アルスター/ナタル・バジルール役)
『神風怪盗ジャンヌ』(日下部まろん/怪盗ジャンヌ役)